

# みの～れは頑張ることができるところ！



OMT-JAPAN  
演劇ファミリー Myu メンバー  
せきね あやか  
**関根 文歌さん**

「お父さんにみの～れを見つけてもらって感謝しています。」と少し照れながら話す文歌さん

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ  
No.145

みの～れ前の四季の里広場にも、ねむの木の花が咲きはじめました。ねむの木の花は優しいピンク色で化粧用の刷毛に似ているとも言われています。見かけたらよく見てくださいね。蟬も大きな声で鳴きだして、もうすぐ梅雨が明けて暑い夏がやってきます。蒸し暑い夏をのりきるために体にいいものを食べる食い養生をするといえそうです。今回は演劇ファミリーMyuのメンバーでOMT JAPANでも活躍中の大洗町にお住いの関根文歌さん取材します。

関根さんは水戸市の高校に通う3年生。

小学校の高学年からぼんやりと女優になりたいと思っていました。女優になりたいたいと思っていたそうです。関根さんは「中学生の時のみので劇団四季の公演を観た時にこれに入らないと人生後悔するぞ！と思い、そこから目指し始めました。劇団四季の研修生を受けようと思っっています」と話してくれました。

Myuに入団したきっかけを聞いてみると、「お父さんが小美玉に勤めていて、マラソンをしていてみの～れに寄った時に、Myuの自己表現ワークショップのチラシを見かけてこんなところがあるよって持ち帰ってきてくれたのがきっかけで参加しました。今はOMTに入ってから3か月ちょっとですが、お芝居の勉強をしたり、タップダンスやジャグリングもやっているの、いろいろな経験できて自分のスキルをあげるために日々勉強しています。OMTに入ったばかりの頃は緊張ばかりでしたが、皆さんが優しく受け入れてくれてお芝居以外にもいろいろ教えてい

ただいて温かく感じました。タップダンスを始めたばかりの頃は、きれいな「タン」っていう音ができなくて足首を柔らかくするといんだよって言われて、足首を柔らかくするってどんな風だろう？って思っていたら、普通の靴でも毎日少しずつ練習をしているうちに、だんだんできるようになってきました。この前のワークショップはタップダンスもいい経験になると思って参加しました。自分のできることはどんどん増やしていけたらなと思います」と楽しそうに話してくれました。

「毎週公演があつて忙しい時期もあるけど自分の経験にもなるし、やれることも増えていくので自分ではなるべく全部出られるように思っています。中学時代、先生に言ってもらえたのは、『100回の練習より1回の本番だよ』。何もやっていなくて『やばい！何もしないで1日終わっちゃった』というより忙しいくらいの方が自分分は好きなのでちょうどいいです」とにっこり。

「OMTで今からやるものは9

月1日の自主公演でお芝居をやること。タップダンス、ジャグリング、マジックで自分を出していけたらいいなと思う。般に収まっていたらだんだんキャラが薄くなってしまふので自分を出していけたらいいなと思います。劇団四季の研修生になりたい。って友達や先生や親に、ちゃんと夢を持っていていいよねって言われます。高校の担任の先生も認めてくれてます」と関根さん。

「みの～れは自分の頑張ることが出来る場所。ここが無かったら夢を持っても実際に行動することができなかったと思う。この場所を見つけてくれたお父さん、ここまで送迎してくれる親がいるからできること。そのために頑張れるところかな」と笑顔で話してくれました。

関根さんは笑顔がとても素敵で夢に向かってOMTでも活躍しています。ぜひ、素晴らしい公演を観に来てくださいね。

(藤田 佐知子)